



大島かけはし

～復興のシンボル「大島架橋」～

(第38号)

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

「大島架橋事業 復興アルバム」URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/osihmakakyo-album.html>

大島架橋事業 復興アルバム

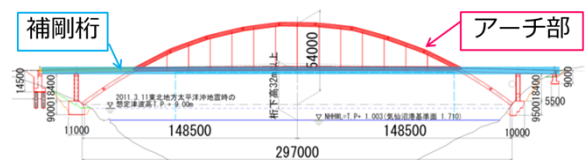
検索

気仙沼港 朝日ふ頭で大島架橋本体(上部工)の 組み立てが始まりました！

三重県津市の工場で作っている架橋本体の部材は、工場内での仮組み立て検査や塗装作業が順次完了したことから、**7月11日より朝日ふ頭へ搬入**しています。今後は、9月頃まで概ね週に1回のペースで部材を搬入し、上部工の**組み立て(地組)**を進めていきます。

現在は、**車両が通行する部分(補剛桁)**を組み立てており、その後アーチ部と接合させ**中央径間**を完成させます。平成29年3月には、下図のような3,000t級の大型クレーン船で中央径間を吊り上げ、一括架設を予定しております。

大島架橋事業は、**平成30年度完成**を目指して参りますので、引き続き御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。



位置図

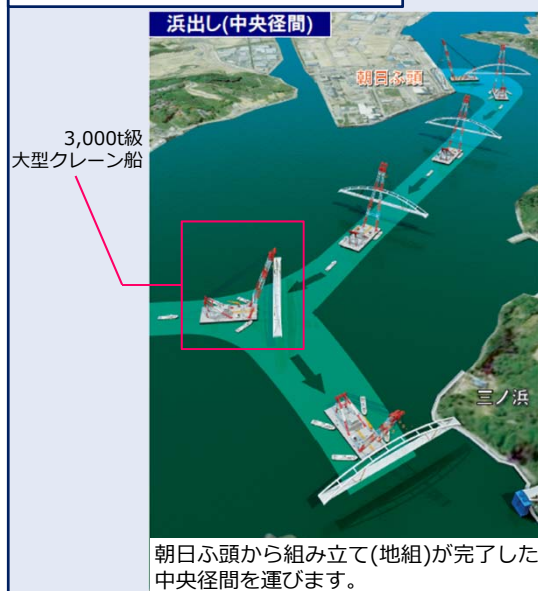


上部工（アーチ部）の製作
(JFEエンジニアリング 津製作所)



上部工（補剛桁）の組み立て状況
(朝日ふ頭)

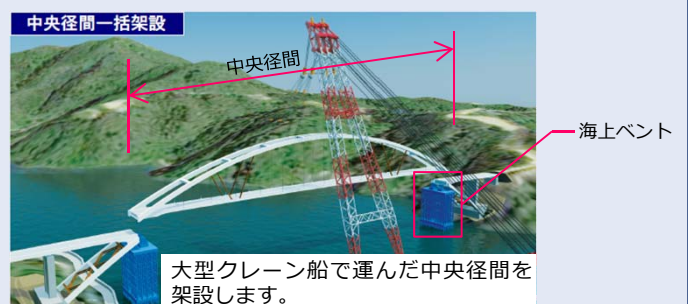
大島架橋架設までの流れ



浜出し(中央径間)

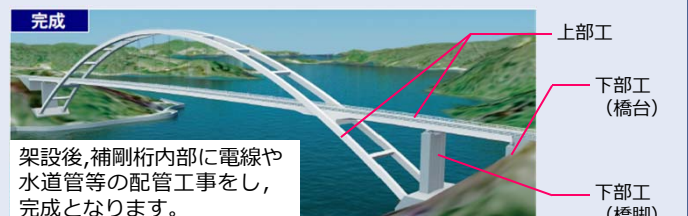
3,000t級
大型クレーン船

朝日ふ頭から組み立て(地組)が完了した中央径間を運びます。



中央径間一括架設

大型クレーン船で運んだ中央径間を架設します。



完成

上部工

下部工
(橋台)

下部工
(橋脚)

架設後、補剛桁内部に電線や水道管等の配管工事をし、完成となります。

大島架橋事業現場見学会を開催しました！

宮城県では、気仙沼市や施工会社の御協力のもと、大島架橋事業の見学会を開催しています。今回は、梅雨の時期の開催で足場の悪い中での見学会もありましたが、今しか見ることでできない施工中の様子を住民の方々に見ていただき、大盛況のうちに終えることができました。

今後もこのような現地見学会等を通じて、事業に対する御理解、御協力を頂きながら、地域と一体となって事業を推進して参ります。



見学会等で配布しております架橋事業や架橋本体工事のパンフレットは、気仙沼土木事務所でもご自由にお持ちいただけます。

H28.06.20 浅根老人クラブ



見学場所：A2橋台（大島）側工事現場

H28.06.30 大島婦人会



見学場所：A1橋台（本土）側工事現場

H28.07.08 高井老人クラブ



見学場所：A2橋台（大島）側工事現場

H28.07.24 化粧坂自治会



見学場所：A1橋台（本土）側工事現場
県道大島浪板線（大浦） 他

大島架橋事業に関するお問い合わせはこちらまで

宮城県気仙沼土木事務所大島架橋建設班

〒988-0181 気仙沼市赤岩杉ノ沢47番地6

電話：0226-24-2537

E-mail：ksdbkok@pref.miyagi.jp

気仙沼市建設部三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課

〒988-8501 気仙沼市八日町一丁目1番1号

電話：0226-22-6600

E-mail：project@city.kesennuma.lg.jp

